

打ち合わせ 会 議 録

標 題	令和7年度 第1回藤枝市地域公共交通会議 議事録		
年月日	令和7年4月16日	相 手	藤枝市地域公共交通会議委員 委員出席18名 代理出席1名（静岡県 廣津委員代理） 随行者1名 欠席1名（南山大学 石川委員） 事務局：地域交通課
時 間	午前10時00分から 午前11時30分まで		
場 所	市役所3階302・303会議室		
作成者	地域交通課 主任主査 竹下 久登 ㊞		
打 ち 合 せ 等 内 容			
1 開 会 2 会長挨拶 3 藤枝市地域公共交通会議に関する説明（事務局より） 4 新任委員・事務局の紹介 5 議 案			
■第1号議案：藤枝市地域公共交通計画（令和8年度～12年度）策定方針（案）について【事務局】			
現計画が令和7年度に満了することに伴い、令和8年度から令和12年度までの次期計画について新たに策定するため、策定方針について意見を求める。詳細は別紙説明資料。			
【意見等】			
＜公募市民 中野委員＞			
①「藤枝市次世代交通システム推進に関する基本的な考え方」P2の「2. 想定期間」について、「中期俊」「想定する想定する」と誤記がある。			
②「移動サービス」と「移動支援サービス」の2種類の表現があるが、違いはなにか。それぞれの明確な定義づけはあるのか。			
③P8の「6 本人の移動を必要とする「足」の課題」において、現状から課題への流れに唐突感がある。運送の創出→移動しなくても手続等が可能な環境づくり			
＜事務局＞			
①誤記については修正する。			
②公共交通に頼れない人のための移動支援を「公共交通サービス」と区別して「移動サービス」「移動支援サービス」のように表記している。定義については今後計画内で決めていく。			
③移動支援やデジタル技術による移動を必要としない支援など、目的や内容に応じて移動困難者を多角的に支援していくことを考えている。			
＜公募市民 中野委員＞			
④P16ページ（6）について、モバイルクリニック等はオンライン診療等で進んでいるが、ある程度施策として調整できているものを掲載しているのか。			
⑤「藤枝市次世代交通システム推進に関する基本的な考え方」を中心に計画を検討していくということでしょうか。			
＜事務局＞			
④あくまで今後考えられる技術を記載している。具体的な内容については、今後計画の素案を見ていく中でご指摘いただければと思う。			
⑤「藤枝市次世代交通システム推進に関する基本的な考え方」については、計画に盛り込まれる内容の一部として参考提示している。これを中心に据えるのではなく、5つの柱の中の1つとして「基本的な考え方」を含めて計画を策定していく。			
＜大畑会長＞			
本会議で諮りたいのはあくまで計画の策定方針についてであり、「基本的な考え方」の内容を諮る			

ものではない。「基本的な考え方」は計画に含まれる内容の一部として参考に提示しているということによいか。

<事務局>

はい。

<社会福祉協議会 小澤監事>

⑥P2 施行体系の「目標1～5」は「施策1～5」としてはどうか。

⑦基本方針について、会議の中で原案を叩くということによいか。素案を見た上で基本方針も見直すという形の方がよいのではないかと。

<事務局>

⑥参考にさせていただきます。

⑦基本方針は理念的なものを含めて設定した上で、計画の素案を検討していくという方針にしたい。基本方針が後で変わってしまい、計画素案の内容と乖離してしまうような状況は避けたい。

<大畑会長>

表現の多少の修正は考えられるが、あくまで基本的な理念・方針をある程度固めた上で、計画を策定していきたいということを踏まえて承認としてよいか。

⇒ 第1号議案承認

■第2号議案：地域公共交通計画策定に伴う地域交通に関するアンケートの実施について【事務局】

計画策定に係るアンケートの実施について事務局から説明。また、石川委員からの事前意見について情報共有。

【意見等】

<社会福祉協議会 小澤監事>

①アンケートの対象を16歳以上としているが、中学1年生くらいまで対象年齢を引き下げてもいいのではないかと。85歳以上については、別のアンケートでデータが収集できているのであれば、それに代えるのもいいのではないかと。

②アンケートの質問3について、「利用したことがあるか」も聞いたほうがクロス集計時に便利なのではないかと。

<事務局>

①現に自主運行バスを利用している小学生・中学生については別途アンケートを考えている。

85歳以上の方については、石川先生は運転免許の返納をした高齢者こそ公共交通が必要では？という視点からのご提案と見受けられるが、我々としては公共交通よりもタクシーや家族送迎に頼っているところが大きいのではないかと考え、現在の年齢設定としている。

②設問数が増えすぎるとアンケート回収率が下がる可能性があることも考慮が必要。

<健康福祉部 石橋委員>

③回収率の低下はアンケート対象の母数を増やせば回避できるのではないかと。

④免許持っている人へ公共交通を使用する頻度・目的をアンケート項目としていければいいのではないかと。

⑤アンケートの字が少し小さいのではないかと。

<事務局>

③予算の関係で母数の増加は難しい。対象年齢の範囲を拡げるかどうかは検討できる。

④利用したことがあるという設問の代わりに頻度を入れるように検討する。

⑤アンケートの余白スペースがまだあるので、字を大きくすることは検討する。

<公募市民 中野委員>

⑥アンケートのとりまとめ結果はいつ会議に提出するのか。

<事務局>

⑥10/3の会議に素案とともに結果を提出する予定。

<公募市民 中野委員>

⑦計画は市民の意見を反映しながら作成することになるが、そのスケジュール感は問題ないかと。

<事務局>

⑦問題ない。市民アンケートを7月までに実施し、その内容を踏まえた素案を10月に提示する。

⇒ 第2号議案承認

■第3号議案：ふじえだ山あい地域「交通空白」解消推進プロジェクトについて

葉梨地区のバス停型乗合タクシーへの転換について、交通空白解消推進プロジェクトとして国庫補助金の申請をしたい旨を説明。

＜大畑会長＞

本議案は、既に推進している事業について国補助金を活用していくものであり、内容を変更するものではないため、承認ということでよいか。

⇒ 第3号議案承認

6 報告事項

■報告事項1：分科会協議事項の報告について

事務局より説明。

【意見等】

＜公募市民 中野委員＞

P13の例示について、対価を「受ける」ではなく、対価を「支払う」ではないか。

＜事務局＞

実施主体は対価を「受ける」、利用者は対価を「支払う」として記載されている。

＜公募市民 中野委員＞

コンパスさんを主体にした表現ということか。

＜事務局＞

そうです。

7 その他

■「静岡県小学生バス無料デー」実施結果の報告

静岡県地域交通課廣津委員代理より説明。

8 閉 会

(以上)